NIE実践報告

1．タイトル：☆確かな学力と豊かな心の育成をめざした新聞活用のあり方

2．学校名

山口県山口市立鴻南中学校

3．実践者名（代表者名）

佐藤　雄吾

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　262人

6．単元（本時の学習課題）名

株を買ってみよう

7．目標（狙い）

実際の株価を新聞から読み取り、それぞれの企業の株価はその時の政治・経済・社会の状態により変動することを知る。

8．評価の視点

・株式会社の資金の調達方法としての株式を理解する。
・自分で新聞記事から注目する企業を選択し、4か月間継続して株価変動を確認する。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「わたしたちの生活と経済」(教科書教材:東京書籍)4時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・株式会社のしくみ(1時間)
・新聞の株式欄のみかたと株の購入(1時間)
　～この間、毎週末の新聞で株価の変動を確認する～
・株の一斉売却とわかったこと(2時間)

(留意点)
・株式会社のしくみを学習した後、新聞の株式市場欄の数値(始値、終値、出来高など)の見方を知らせ、株式をめぐる社会の様子について理解させた。
・「毎日の株価はその時の政治・経済・社会の状態により変動する」ことに重きを置いた実践とした。そのため、毎週1回の株価変動を記録し、ワークシートに記入させた。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

毎週ていねいに株価変動を記録している生徒から、「大きな事件や政治的な動きからも株価が変動することがわかった」など、社会・経済とのつながりを考えられるようになったという意見もあった。

12．成果と課題

今回の実践により、新聞を身近に感じ始めた生徒が増えたことは大きな成果であり、社会科への興味・関心が高まったのも大きな成果である。普段は疎遠な政治や経済のニュースに関心をもつことこそ、公民的資質の基礎を養うことにつながる。今後は新聞記事を読み、発表していくだけではなく、その内容に対しての意見表明をもっと活発にし、自ら記事の内容を調べていく力をつけていくことが必要となる。ただし、限られた授業時数での取り組みとなるので、なお一層の授業計画の工夫が必要となる。昨年度実践したように他教科との連携は欠かせないものであると実感した。